

単元名	古典芸能の世界 — 演じて伝える	2 時間
単元の目標	○古典芸能について理解を深め、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。 ○古典について解説した資料や資料動画から、それぞれの特徴を捉え交流し合う。	
日本語の目標	・古典芸能で使用される独特な言葉を知り、使うことができる。 ・活動の感想を発表したり、ノートに書いたりすることができる。	
学習課題	・本文の内容を理解し、狂言、能、歌舞伎、人形浄瑠璃（文楽）の特徴をつかむ。 ・児童が活躍できる授業づくりとして、古典芸能のそれぞれの特徴を摸倣し、理解を深める。	
主な学習活動	(1) 教科書を読み、狂言、能、歌舞伎、人形浄瑠璃（文楽）の特徴をまとめる。 (2) 古典芸能の独特な表現方法を知り、実際に演じてみる。	
評価の観点	・古典芸能について関心を持ち、学習課題に沿って積極的に授業に参加している。	

## 学習活動計画

時	内容	活動	ポイント
1	<p>古典芸能についての前知識を問う</p> <p>本時の学習目標を書く</p> <p>教科書 P158 を音読する</p> <p>教科書に紹介されている古典芸能についての理解を深める</p> <p>体験する</p> <p>まとめる</p> <p>家庭学習課題</p>	<p>古典芸能の資料画像を見せ、見たり聞いたりしたことがあるかを聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">伝えられてきた文化を知り、体験してみよう。</div> <p>教師の範読後、後追い読みをする。 「時代と特徴を見つけたら線を引きましょう。」</p> <p>狂言と能についての特徴を、ノートにまとめる。 ●狂言の特徴をノートにまとめた後、資料映像を見る。 ●能の特徴をノートにまとめた後、資料映像を見る。</p> <p>狂言・・・狂言の感情表現を体験する。</p> <p>能・・・面を使い、顔の向きや動作から、登場人物の気持ちを想像する。</p> <p>体験後の感想をノートに書き、発表する。</p> <p>家の人に実践した活動の内容を伝え、実演する。</p>	<p>社会科での学習を紐づける。</p> <p>めあてをノートに書いているか確認する。</p> <p>音読部分を指さしながら、語をはっきりと読む。</p> <p>特徴をノートにまとめる。 <a href="#">国立能楽堂 40 周年記念映像</a> 能面の画像</p> <p><a href="#">狂言の感情表現体験</a></p> <p>喜怒哀楽の中間を表す能面に近いカオナシの顔を使う。</p>
2	<p>教科書 P159 を音読する</p> <p>教科書に紹介されている古典芸能についての理解を深める</p> <p>視聴する</p> <p>体験する</p> <p>まとめる</p> <p>家庭学習課題</p>	<p>教師の範読後、後追い読みをする。 「時代と特徴を見つけたら線を引きましょう。」</p> <p>歌舞伎と文楽についての特徴を、ノートにまとめる。 ●歌舞伎の特徴をノートにまとめた後、資料映像を見る。 ●文楽の特徴をノートにまとめた後、資料映像を見る。</p> <p>歌舞伎・・・歌舞伎の基礎知識を映像で理解する。 ●見得を切る歌舞伎ポーズを真似る。</p> <p>文楽・・・三人で人形を使い、指定場面の様子を表現する。</p> <p>古典芸能について学んだ感想をノートに書き、発表する。</p> <p>家の人に、狂言、能、歌舞伎、人形浄瑠璃（文楽）の特徴をまとめたノートを見せ説明する。</p>	<p>音読部分を指さしながら、語をはっきりと読む。</p> <p>特徴をノートにまとめる。 <a href="#">日本芸術文化振興会（歌舞伎）</a> <a href="#">文化庁_文楽資料映像</a></p> <p><a href="#">映像で楽しむ初めての歌舞伎鑑賞教室</a></p> <p>場面カード</p>

## 板書計画（1時限目）

十一月 十一日（土）

古典芸能の世界 — 演じて伝える（その一）

伝えられてきた文化を知り、体験してみよう。

● いつの時代

● 特ちよう

① 狂言

・ 室町時代

・ 観客を笑わせる喜劇

・ 登場人物は二、三人

・ せりふやしぐさを中心

・ 役者が、動物の鳴き声や鐘の音などを声に出して表現する

② 能

・ 室町時代

・ 悲劇

・ 登場人物、歌や楽器の担当など、十数人

・ 能面を用いて、顔の向きを変えることで表情を変化させる

〈ふり返し〉

（体験後の感想を書き、発表する。）

## 板書計画（2時限目）

古典芸能の世界 — 演じて伝える（その二）

伝えられてきた文化を知り、体験してみよう。

● いつの時代

● 特ちよう

③ 歌舞伎

・ 江戸時代

・ 音楽やおどり、せりふやしぐさを合わせた演劇

◆ 隈取

・ 表情や役がらを印象づける化粧のしかた

◆ 見得を切る

・ 目を大きく開いてにらむ動き

④ 日本浄瑠璃（文楽）

・ 江戸時代

・ 太夫（せりふや場面の様子などを語る）

・ 三味線（伴奏）

・ 人形つかい（人形をあやつる）

・ 一つの人形を、「まづかい」「左づかい」「足づかい」の三人で動かす

〈ふり返し〉

（体験後の感想を書き、発表する。）

## 準備物

・ 面



・ 木製人形



- ・ 能面の画像 <https://www.nohgaku.or.jp/guide/%E8%83%BD%E3%81%AE%E9%9D%A2>
- ・ 場面カード（①ご飯を食べている時の場面、②盆踊りをしている場面、③リレーで走っている場面）

## 資料映像

- ・ 国立能楽堂 40 周年記念映像 <https://www.youtube.com/watch?v=FSL5TP2RI8>
- ・ 狂言の感情表現体験 <https://www.youtube.com/watch?v=ILaRcpANQdM>
- ・ 日本芸術文化振興会（歌舞伎） <https://www.ntj.jac.go.jp/kabuki/>
- ・ 文化庁 文楽 <https://www.youtube.com/watch?v=0hoK3RFvxwM>
- ・ 松竹映像で楽しむ歌舞伎鑑賞教室 <https://www.youtube.com/watch?v=yjDLHYmCW8>